

設 立 趣 旨 書

1. 趣旨

今日の子どもや子育てをめぐる環境は急激に変化しています。少子高齢化、核家族化、情報化、国際化など経済社会の変化をうけて、人々の価値観や生活様式も多様化しました。このような社会を反映して、人間関係は希薄化し、地域社会のコミュニティ意識は衰退するなどの状況が顕著となり、家庭における親の子育て環境や子ども自身の成長に新たな課題を生じることになりました。

当団体はこうした現状に、試行錯誤しながら様々な活動に取り組んできました。

- ・親子間、同世代あるいは異世代交流としての野外活動や各種イベントを開催し、交流の促進を図りました。
- ・中学生を対象に、離島におけるSDG's学習の後、海岸清掃活動を実施しました。
- ・一般社会人や中高生を対象に、竹を伐採しグループで筏づくりに取り組み、その後、自分たちで作った筏で海遊び体験を実施しました。
- ・不登校児(生)を持つ保護者を対象に、定期的な子育てなどに関する相談・援助を実施しました。等々

子どもたちはこうした体験活動を通して、主体性や協調性が育ち自己肯定感を高めています。また、保護者は育児に対する不安感が軽減し、視野が広がり徐々に子どもへの対応に限らず、自身の生活にも余裕が生じています。

こうした活動を地域に定着させ、継続的に推進していくこと及び活動を更に拡充させていくためにも、地域の行政や関連団体との連携を深めていくことや社会的にも認められた公的な組織にしていくことが必要です。また、営利目的ではなく、不特定多数の方々を対象とした活動であることから、特定非営利活動法人格を取得することが最適であると考えました。

「法人化」することによって、組織としての発展と子どもたちの健全育成を図る活動を主とした様々な活動を通して、地域社会に広く貢献できると考えています。

2. 申請に至るまでの経過

令和4年7月23日	任意団体ふるさと楽校を設立
令和5年6月26日	会員間で法人設立の意思確認
令和5年9月～12月	設立準備会開催、名称を「きづき」に変更
令和6年1月23日	設立準備会
令和6年2月9日	法人化申請会議
令和7年6月29日	設立総会開催

令和7年6月29日

NPO 法人きづき

設立代表者氏名 中野 レイ子